

【gj009】 時代を超える変体仮名

メンバー: 柿崎莉奈 杉田奈々子 吉田賢司 山本敬晃
北原里佳 蜂谷優

チーム名: 斎藤 達哉 ゼミナール
(変体仮名プロジェクト)



目的

ほとんど書かれなくなったけど、まだまだ見かけることのある変体仮名を再発見してもらうこと



課題

1. 楽しみながら変体仮名に興味を持ってもらうこと
2. 古典籍の変体仮名を読んでみるという、新たな日本文化へのアプローチに触れてもらうこと

課題1への取り組み 「日本橋 変体仮名マップ」

対象者

- 変体仮名への関心が薄かった人
→訪日外国人を含む観光客

フィールドワーク

- 江戸以来の老舗が点在する日本橋人形町をフィールドとして、看板や店構えの撮影を実施

変体仮名の看板・暖簾を掲げる、
人形町、三越前の2コースを設定

- 日本橋 人形町コース
 - ① 尾張屋
 - ② くつろぎさか井
 - ③ 日本橋 舟寿し
 - ④ 大衆割烹つくし
 - ... 他 15 個
- 三越前・日本橋コース
 - ① (株) 榛原
 - ② やぶ久
 - ③ 八重洲/日本橋 鯉はし本
 - ④ 割烹 とよだ
 - ⑤ 日本橋長寿庵

日本橋七福神巡りのマッピングを追加

- 七福神 神社巡り・観光
 - ① 寶田恵比寿神社
 - ② 梶森神社
 - ③ 笠間稲荷神社
 - ④ 末廣神社
 - ... 他 5 個

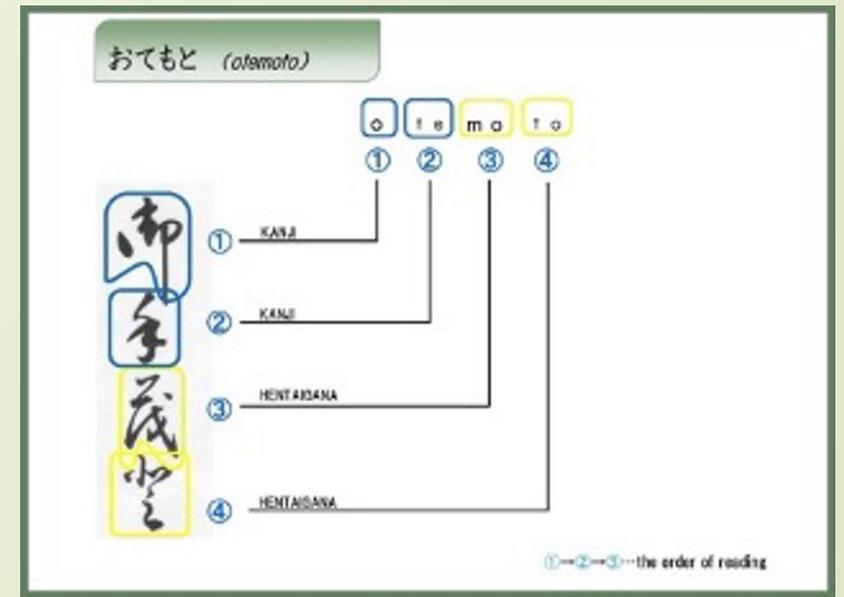
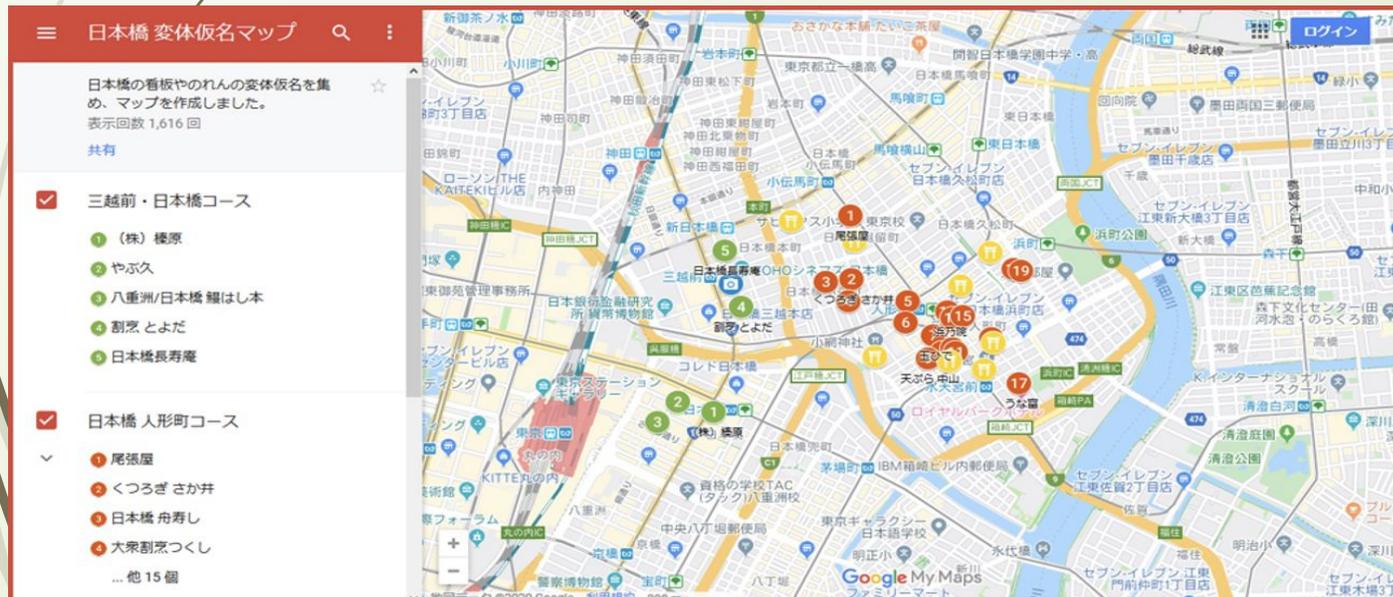
和風の店構えの風情の観光や、箸袋の「おてもと」など、日本文化の新たな楽しみ方を提案



課題1への取り組み 「日本橋 変体仮名マップ」

コンテンツ作成

- 看板に変体仮名を採用している店舗を「Google マイマップ」でマッピング



課題2への取り組み 「古の文字読めるカナ展」

対象者

- ある程度変体仮名に関心があり、読みたいと思っている人
→文化施設を訪れた人

図書館職員さんへの説明

- 展示構想を図書館職員さんの前でプレゼンテーションし、使用許可をいただいた

変体仮名プロジェクト

■プロジェクト内容

変体仮名を読む体験をしてもらえる展示を企画、作成、運営

⇒「為秀本源氏物語」の冒頭1ページを読めるようになることを目標に設定

展示について①

■展示内容（形態）

- ・変体仮名プロジェクト作成の解説教材（パネル2枚）
- ・為秀本源氏物語の冒頭1ページ（パネル1枚）
- ・為秀本源氏物語の基本情報

■希望展示場所

図書館内 エレベーター奥のガラスケース内

展示について②

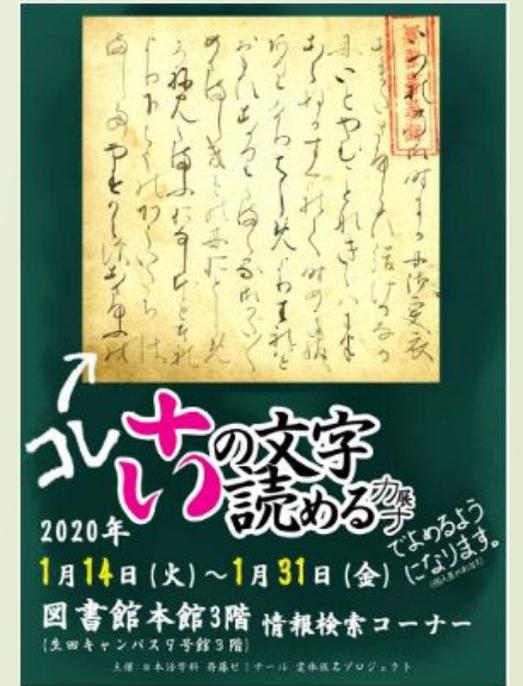
■工夫した点

- ・自分たちの学習過程を踏まえた点
⇒二段階のステップ制を採用
⇒ガイド無しの画像を添付し自力で読んでもらうステップをもうけた
- ・全く読めない人が読めるようになるまで教授を試みた点
⇒このときに現代語訳を知っていると読み易くなることを発見したので本展示に反映した

課題2への取り組み 「古の文字読めるカナ展」

展示

- 専修大学が所蔵する「為秀本源氏物語」の冒頭を使用
- ギャラリートーク
- パネルを基にまとめた小冊子の配布





本実践が達成に寄与するSDGs



質の高い教育をみんなに

- 手軽な学習手段の提供
通して日本(和食)文化に触れられるという新しい
タイトル
- 変体仮名を読むための学習機会を提供
を見て鑑賞することから、読んで鑑賞することへという、
踏み込んだ日本文化へのアプローチ

→変体仮名を
観光ス

→展示物
もう一歩



本実践が達成に寄与するSDGs



住み続けられるまちづくりを/働きがいも経済成長も

- 商店街の活性化
店街とコラボレーションするという、各業種を
アとなった
→観光業界や商
活性化させるアイデ
- 地域の活性化
て、その地域の歴史を振り返ってもらったり、
てもらったりするきっかけとなった
→変体仮名を使っ
地元への理解を深め

本実践が社会に及ぼした影響

いつでも、誰でも、どこでも

- 街中にある変体仮名について手軽に学習できる機会の提供 → インターネットのWEBコンテンツを利用し公開
- 海外にいる日本や日本語に興味を抱いた人が、簡単に変体仮名を知る学習機会の提供 → 1週間で4、5回程度海外からのアクセスがある



◆ 本実践が社会に及ぼした影響

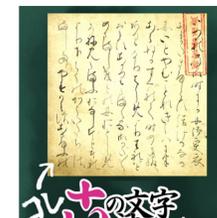
文化施設での展示モデルケース

- 「少なくとも50人以上は冊子を手に取り、閲覧」
→ 展示の開催形式上、見学者の計数は困難
→ この数字は持ち帰り用に作成した冊子数
- 専修大学に興味を抱いた方の目に触れる
→ 専修大学が運営しているホームページの図書館の項目で、私たちの展示の紹介を
していただいている

(2020年1月開催)

【本館ミニ展示】文学部 日本語学科 齋藤達哉ゼミナール 変体仮名プロジェクト主催

この文字読めるかな展 文学部 日本語学科 齋藤達哉ゼミナールの、変体仮名プロジェクト主催による「この文字読めるかな展」を開催いたします。
専修大学図書館所蔵の『源氏物語』桐壺巻（冷泉為秀筆 [康永3(1344)]写）の冒頭部分に書かれた内容を、楽しみながら読めるようになる工夫が満載の展示です。配色にまでこだわったパネルは必見です！



【主催】文学部 日本語学科 齋藤達哉ゼミナール 変体仮名プロジェクト
【期間】2020年1月14日（火）～1月31日（金）
【時間】本館開館時間に準じます
【場所】図書館本館（生田校舎9号館3階）3階情報検索コーナー

※貴重書ギャラリー「源氏物語（桐壺巻）」



◆ 私たちのアクションの持続可能性

持続的な変体仮名学習とは何か

- 変体仮名に触れる楽しみを人々に恒常的に提供すること → 街中にある「変体仮名の看板」の文化的価値の再発見
→ 古典籍は身近にある文化遺産であることへの気付き
- 変体仮名を「よくわからないもの」から、「読めるもの」にする必要がある
→ 観光目的で街を歩いている人、文化施設に足を運んだ人、という意識の異なる対象者へのアプローチが必須



「変体仮名マップ」の次の課題

より多くの人に見てもらうこと

- 変体仮名マップのマニュアル化
 - 観光業界や商店街とのコラボレーション
 - 各商店で店構えと看板の撮影を行ってもらい、解説図のみ作成するイージーオーダーメイド風の仕組みを作る
- 外部サイトとの連携
 - 多言語での掲載 →LIVE JAPAN、Omotenashi Nihonbashi、トーキョーガイドとの連携



◆ 「古の文字読めるカナ展」の次の課題

より多くの人に見てもらうこと

- 次回の展示
隣図書館での開催 → 大学近
- より効果的な展示方法の共有
仮名を展示する際のポイントなど
め、インターネットに公開する → 変体
をまと
- 外部サイトとの連携 → LIVE
JAPAN、Omotenashi
Nihonbashi、トーキョーガイド など



◆ 構想している新たな取り組み

変体仮名のアート化

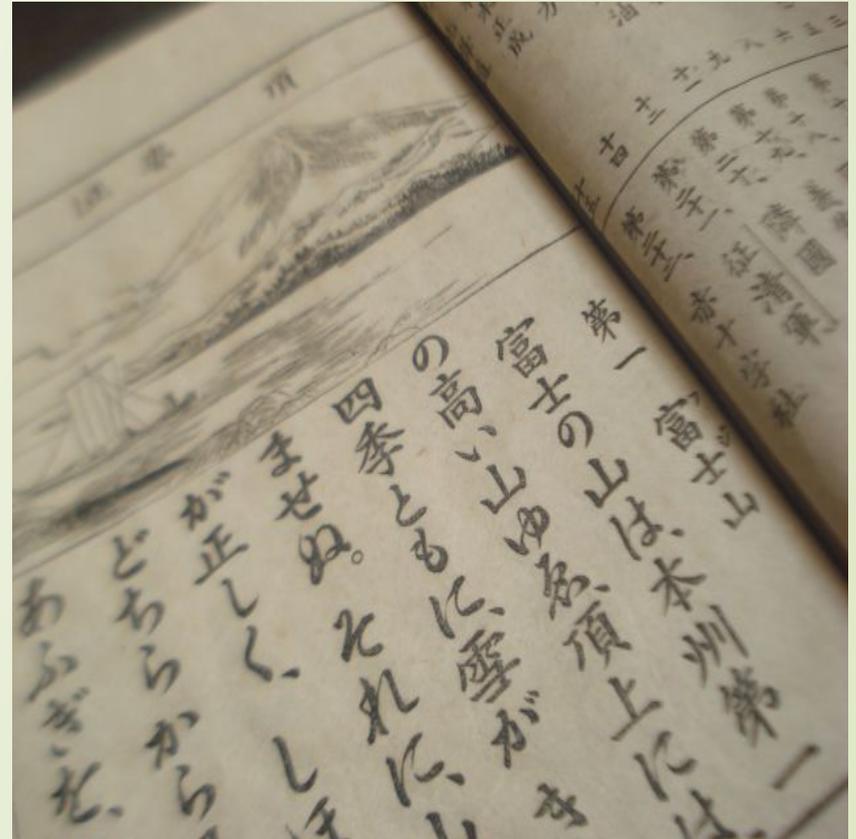
- 非漢字圏の人に興味を持ってもらう
→「よくわからないもの」をアートにすることで、変体
仮名に対する窓口を広げる
- 『パーソンズ美術大学』とのコラボレーション
→変体仮名の四コマTシャツや湯飲み、手拭いなどの
グッズを作成
- グッズの販売 →変体仮名の
作品を展示している施設で販売



活動を継続していくために

- 変体仮名マップのマニュアル化
- 「古の文字読めるカナ展」の次期開催
- 変体仮名のより効果的な展示方法の共有
- 外部サイトとの連携
- 変体仮名のアート化とグッズ販売
- 外部施設との提携

➡ **メンバーの有志募集**



ご清聴ありがとうございました

エントリーコード:【gj009】

タイトル:時代を超える変体仮名

メンバー:柿崎莉奈 杉田奈々子
吉田賢司 山本敬晃
原里佳 蜂谷優

北

チーム名:斎藤 達哉 ゼミナール
変体仮名プロジェクト